

## 資料 「恒春暴動調査報告書」(二)

前 圭 一

### 石井署長池端主記へ命令事項

#### 四林格社内捜査ノ件

- 一 目下同社内へ臺灣土人二名乃至四名ノモノ潜伏シ頻ニ蕃人ヲ教唆シ恒春城内ヲ襲撃ノ策ヲ講シ已ニ蕃人ニシテ其者等ニ加担シ居ルモノ二十名余アリ
- 一 右ノ次第二付誰レカ適當ノ蕃人二三名ヲ該社へ他ノ用向ニ托シテ入込マシメ其者ノ手又ハ同社蕃人ヲ諭シテ臺灣土人ノ全員ヲ捕縛シ恒春へ引致スコト
- 一 若シ捕縛ノ際手ニ餘ルトキハ即時ニ銃殺又ハ斬殺シ其首級ノミヲ筵又ハ毛布ニ包ミ携帯セシムルコト
- 一 前段逮捕ノ手段方法ハ貴官へ一任スルヲ以テ臨機ノ處置アルヘキコト
- 一 右ニ付テハ先ツ猪勝東ニ至リ文杰ニ内議シ若シ文杰不在ナレハ万金ニ相談シ必ス目的ヲ達スル様手配アルヘキコト

一 途中射麻裡ヨリ阿蘭及射老ノ兩人ヲ猪勝束へ同行スル等ノ策略ハ一ニ貴官ノ方寸ニ任カス

目下四林格社ニ潜伏教唆シ居ル土人ノ住處人名年齢等ハ左ノ如シ

徳和里四溝庄ノ者

農業者 盧松元

三十五才

右ハ明治二十九年中土匪ノ主謀者トナリ憲兵ニ逮捕セラレ居ル中逃走シ爾後所在不明ノ處近來四林格社ニ潜伏教唆シ居レリ極メテ惡漢ナリ

車城庄ノ者

商業者 陳掌

三十二才

右ハ阿片密輸入事件ノ為憲兵ニ逮捕セラレ居タル内逃走シ目下盧松元等ト共ニ四林格社ニ潜伏シ居レリ

一 分教場ニ於ケル問答書ハ本日午前十時正ニ掌握セリ

一 竹社ニ二十名斗リ炭焼等ニ従事シ居ル土人ハ一味ノ者ナルヤモ知レス故ニ悉ク逮捕スヘシ若シ逃走ヲ企テ抵抗スル場合ハ斬殺スルモ不苦ト虽良否ヲ別タス猥リニ斬殺スヘカラス

一 刺林格社ニ潜伏セル見込ノ人ハ或ハ竹社ノ土人中ニ混シ居ルモ難斗故ニ其考ヲ以テ措置アルヲ要ス

一 前項逮捕ノ者ハ猪勝束ニ連レ歸リ當方ノ指揮ヲ待タルヘシ

但シ番置中嚴重看守ヲ要ス

一 当方ニ於テハ明廿四日午後ヲ期シ着手筈ニ付時機ヲ失セサル様注意必奏功ヲ期セラルヘシ  
右数項ノ外ハ最初ノ事項書ニ依リ臨機取斗有之度候也

明治三十一年十二月廿三日

恒春辨務署長

一 今廿四日午前六時三十分発ノ書面ハ同九時三十分正ニ落手セリ

一 緩急次第蕃丁引率来恒ノ件ハ既ニ萬金ヘ命令済ナルヤ若シ未済ナレハ速ニ傳命シ何時モ通知次第出発ニ差支ナキ様準備セシメ置カルヘシ

一 前項ノ人員ハ二組ニ分チ一組五十名都合百名ト示シ置可相成事

明治三十一年十二月廿四日

午前十一時認ム

### 平田友田両主記報告書

西門外匪賊追撃顛末報告書

明治三十一年十二月三十一日未明應援兵車城ニ来着恒春ヘ向ケ進軍ノ模様アルヲ以テ午前十一時小官ハ西門ニ於テ署長ノ命ヲ受ケ賊ノ横撃ヲ控制豫防ノ為メ潘文杰以下蕃人二十名ヲ率ヒ西門ヲ出テ右折シテ大埔庄ニ至リタルニ民家ノ門口窓口ニハ土煉瓦ヲ以テ家屋防禦ヲ施シアリタルモ異状ナキヲ以テ三台麓ノ堤下ニ伏セ土匪ノ

動靜ヲ窺フニ三台山裏手ノ問道ヲ虎頭山方向ヘ向ケ進行スルヲ以テ其群ヘ一斉射撃數回ヲ加ヘタルモ賊ハ益々虎頭山方面ニ走ルノミニシテ別ニ抵抗スルコトナク漸々東門方面ニ進ムコトヲ得タリ東門ニ至ルヤ射麻裡街道赤平山頂ニ多數ノ人影ヲ認メ潘文杰ハ之ト應呼スルニヨリ其何人ナルヤヲ問ヒタルニ猪勝束蕃人恒春城ノ危ヲ見テ應援ニ來リタルモノナリト答ヘ依テ小官ハ東門ヲ開キテ発砲シツ、進ミ來レル憲兵ニ一時其発砲中止ヲ協議シ尚文杰ヲ以テ彼等蕃人ニシテ誠意來援スルモノナレハ銃器刀鎗ヲ手ニセズ下山シ來ルヘキ旨ヲ命シタルニ下リ來リタル者百余名銃器刀鎗ヲ取揚ケ蕃人ヲ一ヶ所ニ集合シ憲兵ト共ニ其周圍警戒中山脚庄方面ノ山上ヨリ二三ノ者猪勝束蕃人中ニ混同セント下降シ來リ其舉動如何ニモ不審ニ付憲兵ハ直チニ此等ヲ捕縛セリ

此時大板輻派出所ノ家主潘猫仔崇<sup>パンバヤツシ</sup>モ下降シ來リタルニヨリ大板輻派出所巡查ノ所在ヲ尋ネタルニ即答シ能ハサル而已ナラズ言語舉動何トナク怪シキヲ以テ小官ヨリ驚鬚鼻ニ引上ケタルニ非ラズカト問返シタルニ然リト答ヘ其俣何處トモナク立去タリ

此ト同時ニ潘文杰ハ小官ニ向ヒ山上ヲ指シ彼處ニ阿眉番人アリ此等ハ同シク下山シ來リテモ差支ナキヤト問ヒタルニ付汝ニ於テ不都合ノ者ニアラズト保証セハ下山セシムルモ差支ナシト答ヘタルニ文杰ハ保証スル能ハズト答フ茲ニ於テ彼等ハ下山シ來ラス

小官加猪勝束蕃人トノ問答ハ左ノ通り

問答書 答者ハ潘文杰ノ三男クウルンニシテ蕃人ヲ代表ス

問 汝等ハ何ノ為メ此所ニ來リタルカ

答 土匪蜂起シ恒春城ヲ圍ムト聞キ應援ニ來レリ

問 何時來リシカ

答 十二月三十日午后来レリ

問 然ラハ何故直ニ恒春城へ来ラサリシカ

答 日本軍ノ発砲盛ニシテ若シ出デナバ土匪ト認メラレンコトヲ恐れ尚出テ来ルノ機ヲ得サリシニヨル

問 其夜ハ何処ニ宿セシヤ

答 射麻裡ニ宿セリ

問 途中土匪集合シ居リタルナラン汝等ニ抵抗セサリシカ

答 抵抗セス我等ノ多数出来ルヲ見テ五六十名ノ土匪ハ只今虎頭山方面へ退却セリ願クハ追撃スルヲ得ント

茲ニ於テ小官ハ大久保憲兵伍長ニクウルンノ言ヲ以テシタルニ大久保伍長ハ然ラハ憲兵ヲ以テ追撃スヘシ故ニ潘文杰以下番人十四五名ヲ我隊ニ加ヘラレタシトアリシ故ニ小官ハ直ニ潘文杰ニ其旨ヲ傳ヘ加入

セシメタリ此時憲兵中ニ番人ト共ニ追撃スルハ今日ノ場合ニ於テ危険ナリ若万一彼等ノ術中ニ陥入タラシニハ悔モ詮ナシ自分等ハ其命令ニ服従スル能ハストノ議論起リ為ニ追撃ノコトハ止ミタリ

問 去ル二十八日午后池端主記大庭書記外巡查三名ハ十四五名ノ蕃人ヲ率ヒ猪勝東ニ行カレタルカ異状ノコト

ハナキヤ

答 池端主記外五名ハ恒春へ帰途中去ル廿九日正午十二時頃赤牛山裏手ニ於テ土匪ノ為戦死セリ

問 其時同道セシ蕃人ハ異状ナク皆家ニ帰りタルカ

答 異状ナク帰レリ

問 汝等ハ池端主記以下ノ死体ノ在ルトコロヲ承知センヤ

答 承知シ居レリ

問 然ラハ阿蘭(二股頭人)初メ汝等三十名ニ於テ其死体ヲ持来ルヘシ

答 了承セリ

右問答了リテ小官ハ猪勝束蕃人ヨリ取揚ケタル銃ハ発砲シタル形跡ハナキヤ憲兵ト共ニ取調ヘタルモ発砲シタル形跡ヲ認メス此時第三課長鐔木主記ハ東門へ来ラレタルヲ以テ蕃人降下ノ模様ヨリ憲兵諸氏トノ打合せノ大略ヲ告ケ置キ小官ハ午后五時署長へ復命ノ為引率ノ蕃人ト共ニ東門ヲ入テ帰署セリ

右顛末復命旁報告仕候也

明治三十一年十二月卅一日

主記 平田清五郎

石井署長殿

蕃地偵察実況報告書

一 明治三十一年十二月廿五日午前八時頃池端主記ヨリ牡丹社蕃人三十名ヲ率ヒ猪勝束社迄至急来ルヘシトノ報告ニ接シ小官ハ直ニ牡丹社々長朱雷及加也肉へ速カニ蕃丁三十名ヲ集ムヘキ旨ヲ命シタリ然ルニ蕃丁等ハ農業ノ為メ家出不在ノ為メ集マルモノ僅カニ十二名依テ小官ハ社長朱雷ヲ始メ十四名ヲ率ヒテ午前十時牡丹社ヲ出発シ行クコト凡ソ三里萬里得ニ至ル途中遙カ向フノ山手ニ当リ銃声ニ発ヲ聞キ尚進ムコト三四町許ニシテ池端主記及蕃人五名ニ出会シ先ツ銃声ノコトヲ尋ネタルニ小官等ノ来レルヲ喜ビ池端主記等ニ於テ発銃シタル事ヲ聞キ安心セリ夫レヨリ共ニ万里得庄ヲ発シ四林格社及大社ノ中間ニ向ヒ行クコト一里許ニシテ大庭書記ト出会シ共ニ進ムコト十五六丁ニシテ一ノ谷アリ此ノ處ニ暫ク休憩シ池端主記大庭書記協議ノ上小官引率ノ蕃人ニ左ノ通り池端主記ヨリ申渡サレタリ

茲ニ汝等ヲ召ヒ集メシハ外ノ事ニアラス近頃当署管内ニ多クノ悪人入レリ依テ小官等ハ署長ノ命ヲ奉シ本夜汝等ト共ニ彼悪人等ノ挙動ヲ偵察シ場合ニ於テハ直ニ捕練<sup>捕</sup>セント思フナリ故ニ汝等ハ十分尽力スヘシ若シ彼悪人抵抗シ又ハ捕縛ナシ得サルトキハ銃殺ストモ差支ナシ然リト虽婦人小供ハ害スヘカラス尚猥リニ発砲スヘカラス能ク何事モ小官等ノ命ヲ待ツヘシ本夜ハ十二時ヲ以テ此ノ處ヲ出立ノ見込ニ付夫迄茲ニ休息スヘシ

時ニ降雨ノ模様アリ忽チニシテ雨甚シク幸十二時此ニ至リ雨止ム故ニ一行共ニ出発ス行クコト一里余ニシテ竹社ニ入り直ニ竹社々長巴弄弄ヲ呼ヒ出シテ右ノ如キ尋問ヲナシタリ

問 此附近ニ土人多ク入込ミ居ルカ汝カ知り居ル土人ノ姓名ヲ聞キタシ

答 此辺ニハ盧招元ヲ始メ阿守阿牽其他多クノ土人入込居レリ

問 盧招元ハ何時此地ニ来リシヤ

答 三年前ヨリ此地ニ来タルモノト考ヘマス

問 彼ハ平素何ノ事業ヲナシ居ルヤ

答 農業ヲナシ居レリ然レトモ農業ハ甚少クシテ平日炭焼等ノ所ニ出入シ居レリ

問 住所ハ何処ナルヤ

答 住所トテ別ニ知ラサルモ当時此竹社内ニ居レリ

問 然ラハ其家ヲ案内セヨ

答 承知セリ此道ヲ行カント

此時小官ハ直ニ牡丹社蕃人ニ本夜盧招元ヲ捕縛センコトヲ内命セリ尚進ムテ行クコト十五丁許ニシテ盧招元ノ家ニ着シタリ依テ小官ハ蕃人十四名ノ内七名ハ家ノ背後ニ同ク七名ヲ家ノ前面ニ配置シ小官ハ家ノ入口ノ左側

ニ立チ池端主記大庭書記ハ蕃人ト共ニ前面ノ方ニ立タレ小官ハ巴弄ヲ内ニ入レ盧招元ノ在否ヲ問ハシメタルニ巴弄ハ内ニ入りテ招元招元ト二三声呼ヒ起セシニ招元ハ直ニ起上リ戸口ニ出來リ日本人來リシカト一言セリ依テ小官ハ速ニ捕縛スヘシト蕃人ヘ命令セシニ彼ノ招元ハ早クモ逃ケ出タサントセシ故蕃人等ハ見ルヨリ早ク招元ヘ向ケ發砲打斃シ直ニ其首ヲ切り取り此時竹社々長巴弄ハ速カニ此場ヲ引上ケサレハ危險ナリト再三注意セシニツキ同月廿六日午前四時頃該社ヲ引上ケ同午前六時頃掃署シ招元ノ首級ハ署長署員一同ノ実見ニ供シ尚掃署中ノ蕃人潘文杰ニモ一見セシメタル処文杰ハ招元ノ首ナリト答ヘタリ

一翌二十七日小官ハ池端主記大庭書記ト共ニ署長ノ命ヲ奉シ午前二時當署ヲ出立シ同五時頃猪勝東社ニ着シタルニ蕃人末夕悉ク來集セサルニ依リ十一時頃迄休息シ居タル處殆ント百名許集合シタル依テ小官等ハ文杰以下其他ノ蕃人ヲ率ヒテ午后一時出發夜陰ニ乘シテ四林格社ニ入り阿守及阿率ノ二名捕縛ノ目的ヲ以テ先ツ阿守ノ宅ニ到シニ阿率ト別家ナルヲ以テ小官等ノ一行ハ二手ニ分レ一ハ池端主記及文杰之ヲ率ヒ其數凡ソ七十余名一ハ大庭書記及小官之ヲ率ヒ其凡ソ二十余名大庭書記及小官ハ阿率ノ家ニ向ヒタルニ彼等ハ武器ヲ以テ抵抗シ容易ニ捕縛スルコト能ハサルヲ以テ不得止阿率ヲ始メ外四名ヲ銃殺シ其場ヲ引上ケ池端主記等ノ担当セリ阿守ノ宅ニ至リタル處阿守始メ外二名ハ已ニ斃サレ居レリ是ニ於テ一同四林格社ヲ引上ケ翌廿八日午前七時掃署シタリ

但其時分取リタル品ハ銃二挺刀四本ナリ  
右実況及復命候也

主記 友田直衛

恒春辨務署長 石井晋一殿



土匪斬殺人名

明治三十一年十一月十五日逮捕	陳	福	傳
同 年十一月十九日斬殺	盧	丁	
明治三十一年十二月二十日逮捕	盧	清	風
同 年同月同日斬殺	黃	安	
同上	張	阿	壽
明治三十一年十一月五日逮捕	張	阿	昂
同 年同月三十一日斬殺	黃	慶	
明治三十一年十二月五日逮捕	黃	安	
同 年同月三十一日逮捕	張	阿	壽
明治三十一年十一月十九日逮捕	張	阿	昂
同 年十二月三十一日斬殺	張	阿	昂
同上	張	阿	昂

街庄社戸数人口調

部落別	戸数	人口	街庄社数	備考
土人部落	二、二六〇	一、九三四	五二庄	街庄長十四人
上蕃社	五六〇	一、九六五	二二社	頭人二人 社長十九人 通事一人
下蕃社	六九八	二、一七二	二二社	頭人四人 社長十九人 通事一人
計	三、五三〇	一三、八九九	九四	六十人

土人ト蕃人トノ人口比例ハ五ニ対スル一強トス

被害街庄社別一覽表

辦務署調査

計	九棚庄長	馬鞍山庄長	鷺鑿鼻庄長	射麻裡庄長	恒春街長	虎頭山庄長	楓港庄長	新街庄長	草□庄長	九樹房庄長	頭溝庄長	蚊蟀庄長	保力庄長	車城庄長	所轉名	街庄社長	
																死	者
一														一	土匪ノ害		
四														四	討伐ノ害		
															土匪ノ害		
															討伐ノ害		
八〇	八〇														土匪ノ害		家屋燒毀
一一								四		八					討伐ノ害		
九〇〇						九〇〇 <sub>石</sub>									土匪ノ害		米
															討伐ノ害		穀
二五〇〇〇〇											二五〇〇〇〇				土匪ノ害		金
															討伐ノ害		錢
一七四	六三			三	九七						一一				土匪ノ害		家畜
															討伐ノ害		
牛豚 一三四 一三	豚水牛 五一三 〇三			牛	豚牛						豚						備考

















## 恒春匪叛情形説

弁務署參事 汪 金 明 草

囑託 中久木信周 譯

夫レ恒春ハ地瘠セ民貧ニ土曠ニシテ人稀ナリ匪徒アリト雖未タ以テ武ヲ風スルニ足ラス明治二十八年清朝鼎革ノ際駐兵皆星散シテ逃遁シ或ハ支那ニ逐ク或ハ他境ニ赴ク當時匪魁陳福傳父子兄弟親族盧招元（\*欄外書き込み；以下根元トアルハ招元ノ誤リ）兄弟張光清張琴等父子及陳開山親族等ノ輩皆ナ齊シク西南山下一帶徳和里管内各庄ノ匪徒ヲ率ヒテ縱橫跋扈シ日々王道ナシ然レトモ清國官衙ハ已ニ悉ク散轍セシカ為之ヲ制スルニ人ナキヲ以テ彼等ハ益々暴乱ヲ擅ニシ遂ニ大衆ヲ引率シテ恒春城地ヲ圍攻ス予レ當時清政府幕官ノ長タリ恒春團練總局義民長ヲ兼任ス乃チ自ヲ城内ノ商民ヲ督シ城ニ黨ヲ守禦スルコト大凡三晝夜辛フシテ敵ヲ退クコレヲ得タリ十一月一日幸ニシテ天兵來着シ良民ヲ保撫セシヲ以テ匪類皆ナ四方ニ散ス匪魁陳清江及其同類十余人ハ其際天兵ノ剿捕スル所トナリタリト雖他ノ陳福傳父子兄弟盧根元兄弟張琴親族等ニ至テハ巧ニ天網ヲ脱シテ尚余命ヲ保ツモノ多シ近來全臺帝國ノ版圖ニ歸シテヨリ已ニ數年匪徒漸ク踪ヲ潜メ容易ニ暴動セス然ルニ何ソ圖ラン此度ノ地方税則発布ハ忽チ人心ヲシテ惶々タラシメ再ヒ匪賊ノ暴劇ヲ見ルニ至ラントハ乃チ匪魁陳掌盧根元兄弟陳福傳ノ長子棉九次子光致等八名匪徒ヲ嘯衆シテ各處ニ出沒シ大イニ遊説ヲ試ミテ以テ人心ヲ惑乱ス各庄中不逞ノ徒ハ往々身ヲ投シテ直ニ匪群ニ入レリ又各蕃社頭目ニシテ或ハ官衙カ月給ヲ下賜セサルモ不平ヲ懷クモノ私カニ蕃人ヲ引率シテ之ニ応セリ匪魁等以為ク我策已ニ成ルト依テ先ツ竹社外大草埔地方ニ屯シ衆ヲ會シ血ヲ歃テ相誓ヒ約シテ同十二月二十八九ノ兩日ヲ以テ必ス事ヲ擧ケント其衆ハ合計二千名ト註ス彼等ハ果ニ二十九日午前十時頃驟然トシテ襲來セリ天兵先キニ之ヲ聞知シ敵ニ守備ヲ加ヘタルヲ以テ直ニ之ニ応戦シ奮勇シテ防御

ス然レトモ匪勢頗ル優ニシテ三十日ニ至ルモ尚ホ退却ノ模様ナク遂ニ巨砲ヲ放テ城内ヲ連撃ス商民等身ニ寸鉄ヲ有セサルヲ以テ防御スルニ術ナク唯タ手ヲ束ネテ驚惶スルノミ三十一日ニ及ンテ幸イニ援兵ノ来ルニ會シ以テ匪賊ヲ擊散スルヲ得タリ恒城ノ危機一転シテ安トナルハ真ニ此人ノ幸福ナリ

夫レ彼ノ匪賊ノ未タ叛ヒサルニ当テ處々ニ謠言アリ曰何月何日ニハ必ス來襲セント此ノ如クニシテ果サル、モノ已ニ数度予レ亦タ署長ニ上申シ速ニ長官ニ打電シテ兵二三百ヲ増サンコトヲ以テセリ蓋シ匪徒ハ我兵少数ナレハ乱ヲ企テ多ケレハ敢テ妄動セサルナリ夫レ清朝ノ時ニ當テハ治本ノ時ト雖尚ホ千余人ノ兵アリ有事ノ秋ニ至テハ忽チ数千人ニ増加ス苟モ此ノ如クナルヲ以テ匪賊モ敢テ叛乱セスト雖モ然モ尚ホ各社兇蕃ノ草路ニ伏シテ旅人ヲ刺殺スルヲ免レス今ヤ天兵ノ当地ニ駐屯スルモノ僅カニ百余人ノミ例令勇ナリト雖モ斯ル微力ヲ以テ焉ソ能ク数十里ノ嶮地ヲ鎮守スルコトヲ得ンヤ増兵ハ目下ノ急務ナリ

予元ト不肖ト雖モ苟モ參事ノ末席ニ列ス知ヲ言ワサルハ不忠ナリ因テ茲ニ芻蕘ノ言ヲ述ヲ以テ長官ノ電察ヲ祈ルノミ

夫レ各庄民ノ中好テ匪徒ニ入りシモノハ一敗ノ後チ或ハ深山ニ潜匿スルモノアリ或ハ臺東ニ逃レテ蕃社ニ入ルモノアリ○(※欄外書き込み：○或ハ鳳山ニ至リ匪窟ニ起キシモノアリ)此際此人ノ斷腸ニ耐ヘサルハ良民ニシテ往々天兵ニ誤殺セラレタルモノ是ナリ而シテ此後ノ處分ハ如何スヘキ乎此際ニ當リテ其匪魁陳掌盧根元兄弟陳棉九及陳光致等ノ諸人ハ必ス之ヲ捕獲セサルヘカラス若シ然ラスンハ或ハ恐ル死灰再ヒ燃スルヲ古人曰斬草不除根苗芽依旧発ト嗚呼夫レ斯クノ謂ヒ乎若シ今彼等ヲ捕獲セント欲セハ告示ヲ掲出シ匪魁ヲ捕拿スルモノニハ賞金ヲ給与スヘキコトヲ発布スヘシ一匪魁ヲ捕拿シタルモノニハ之ニ數百円ヲ給シ○(※欄外書き込み：○他ノ小匪首ヲ捕拿シタルモノハ百數十円ヲ給スヘシ)尚ホ且一面ニハ各庄長庄老及紳耆等ヲシテ彼等ノ捕獲ニ從事セシムヘシ此ノ如クニハ匪根全ク絶テ地方靖シ遂ニ後患ナシ今此ニ匪魁ノ來歴ヲ記シテ以テ貴官ノ一覽ヲ博セン

匪魁盧根元八年四十余才徳和里溝庄ノ人原ト農ヲ以テ業トス頗ル田園アリ明治二十八年十月匪魁トナリ衆ヲ率ヒテ恒春ヲ圍攻スルコト三晝夜會ス天兵ノ來ルニ際シ彼ハ早く遁匿セリ天兵大ニ匪類ヲ索剿シ遂ニ彼ノ父盧光智ヲ捕ヘテ誅ス根元兄弟等數人巧ニ天網ヲ脱シ鬼心尚ホ悔ユルコトヲ知ラス今回乃チ再ヒ覚ヲ聚メテ以テ乱ヲナス蓋シ去年十二月二十六日頃牡丹社蕃人一偽頭ヲ殺戮シ以テ根元ト號シ官署ニ至リテ賞ヲ乞フ然レトモ實際ハ炭燒人潘求ノ頭ナリ根元今ヤ逃ヲ深山ノ間ニアリ或ハ臺東蕃社ノ内ニ潛ムト何レカ真偽ヲ知ラス

陳福傳ノ長子棉九年四五十才次子光致約三十余才抑モ福傳ハ徳和里糠榔林庄ノ人農ヲ業トシ頗ル田園アリ明治二十八年十月間身匪魁トナリ父子親類陳開山等ト共ニ大兵ヲ率ヒテ來恒シ攻撃シ晝夜會ス十一月一日天兵來リシ為彼等ハ遁レテ臺東蕃社ヘ赴ケリ當時天兵彼ノ子陳清江ヲ捕ヘテ誅ニ伏ス而シテ福傳父子僥倖ニモ命ヲ免レ尚ホ過ヲ悛メス前二十二月間ニ於テ我警察官幸ニ福傳ヲ捕テ之ヲ誅殺セシモ棉九光致等尚ホ服セス却テ官署ヲ怨恨シ乃チ陳掌盧根元等ト相率テ今回ノ襲撃ニ加リシナリ彼等ハ一敗地ニ塗シタルヲ以テ逃レテ深山ニアリト匪魁陳掌年約三十余才車城庄ノ人原ト商ヲナス明治三十年十一月間阿片密売ノ罪ヲ犯シ憲兵ニ捕ヘラレテ大ニ横打セラレ苦痛ニ耐ヘス夜遁走シテ阿猴店ニ赴キ遂ニ林少貓ノ許ニ投セリト言フ彼レカ此度來襲セシハ少貓ノ命ニ因レリト其際彼ハ自ら軍ヲ率ヒ先鋒營ト偽稱セリ敗後逃レテ再ヒ少貓ノ許ニ赴ケリト

亦聞ク下蕃社大股頭人及ニ股頭人ハ嘗テ匪徒ニ交リ竹社外大草埔地方ニ於テ等シク彼等ト會盟シ來襲ノ事ヲ約セリト予未タ其虚実ヲ知ラス然レトモ土匪來襲ノ際彼等ハ蕃族數十人ヲ引率シテ我軍ヲ応援セリ前罪アルモ問ハスシテ可ナリ今予カ述ヘシトコロ渾テ予ノ肺肝ヨリ吐來セシモノ長官高明幸ニ之ヲ以テ河漢ニ付スル勿レ又蕃人ト大概今回ノ來襲ハ蕃人大半ヲ占メ匪徒反テ鮮シ又蕃人ハ大概銃砲ヲ携帶セシニ匪徒ハ之ヲ有スルモノ少ク各人只タ竹竿ヲ以テ虚勢ヲ張リシニ蕃人中此事變ニ預リシモノハ四林格社竹貓仔社最多ク之ニ次クモノハ内山蚊蟀庄射麻庄港口庄万里得庄向林庄トナス蓋各庄各社民蕃ノ善惡一ナラス若シ之ヲ律罰セント欲セハ庄

長及社長等ト商量シテ以テ之ヲ行フヘシ玉石共ニ焼テ天地好生ノ徳ニ背クナクンハ幸ナリ

### 清國課税ノ旧慣

清朝ノ臺ヲ治ムルヤ各地皆賦課税ノ法アリ唯恒春ハ新闢ノ區ニシテ地曠ニ人稀ナリシヲ以テ特ニ之ヲ免セリ光緒十四年ノ丈量後ト雖恒春ノ如キハ特別制度ニシテ僅ニ賦税ノ名アリシノミ其鮮少ナルコト他地ニ比シテ数倍セリ○(※欄外書き込み：○然ルニ尙ホ当地人民ハ其命堪ヘサリシナリ)試ミニ見ヨ当地ハ嘗テ子女ヲ賣買スルコトナカリシニ丈量以後ハ此弊驟然トシテ起リシニアラスヤ然レトモ若シ兇年ニ遇ハ清朝大ニ之カ撫恤ノ道ヲ計リシヲ以テ稍ヤ民心ヲ安シスルヲ得タリ乃チ義捐ヲナシテ窮民ヲ救フコトモアリ或ハ平常数千石ヲ積蓄シ非常ノ時ハ之ヲ出シテ民ニ貸與シ他年收穫ノ機ヲ待チテ再ヒ還附ヲ命スルコトアリ或ハ米価騰貴スレハ官署金ヲ出シ商買ニ貸与シ彼ヲシテ臺南ニ赴キ米石ヲ買ヒ來リ賤價ヲ以テ民ニ賣与スルコトアリシナリ故ニ民心悅服シテ地方靖康臺東平埔蕃ノ叛アリシト雖モ直ニ之剿討セリ之レ蓋シ施政ノ惡シキニアラス土地測量委員カ醉ツテ蕃女ニ戯レタルカ故ニ彼等ハ之ニ激シテ起リシノミ又台中匪魁施九□ノ乱アリシト雖直ニ之ヲ征掃セリ之レモ亦施政ノ惡キニハアラス嘉義県官羅建祥カ貪欲ニシテ民ヲ虐ケタルヲ以テ彼等ハ之ヲ怒テ起リシノミ抑モ恒春地方ハ如此平安ナリシト雖モ清朝ノ兵備ハ決シテ忽ニセサリシナリ若シ忽ニセハ当地ハ山險ニ水深キヲ以テ匪賊尤モ好テ此地ニ集中スレハナリ曾テ当地駐在ノ兵台東ニ赴キテ討伐ニ從事ス當時民蕃我ノ兵ノ少ナキヲ見テ張光清張琴父子等主トシテ親族及匪類ヲ誘ヒ乱ヲナセリ予當時職清賦總局長タリ此事ヲ聞知シタルヲ以テ直ニ縣官高晋翰ニ飛報シ蕃地ノ兵ヲ召還シ漸ク暴乱ヲ戡定スルヲ得タリ之ニ依リ之ヲ見ルニ当地ノ防備ハ一日モ忽ニスヘカラサルナリ

之ヲ要スルニ戦乱後ノ処分案ハ最モ方今ノ急務ニ属ス若シ匪賊ヲ罰セント欲セハ其用意深く緻密精透ナラサル

ヘカラス若シ玉石ヲ混合シ累ヲ無辜ノ民ニ及ホサハ良民モ亦タ其苦煩ニ堪ヘス翻テ土匪ニ化スルヤモ知ルヘカ  
ラス如カス各庄長庄老等ヲ保証人トナシ先ツ良悪ヲ區別ナシ□或ハ彼等ニシテ不公平ノ処置ニ出テ匪賊ヲ濫保  
スルカ如キコトアラン乎亦タ處スルニ匪賊ト同罪ヲ以テスルモ不可ナリ

予尚ホ一事ノ言ウヘキモノアリ近來蝗災四方ニ起リ五穀実ラス加フルニ暴風ニ遭遇スルコト數回收量平時ヨリ  
少ナキコト十分ノ三四ナリ民困窮天ヲ呼ヒ地ニ泣クモ亦策ノ出ルナシ長官能ク之ヲ電察シ以テ寬典ヲ行ハレナ  
ハ民雀躍シ喜ヒ以テ其堂ヲ頌セン嗚呼民ハ国ノ基ニアラスヤ民ナクンハ国ナキナリ長官幸ニ之ヲ滋ヤフニ

明治三十二年一月十二日

### 清國政府撫蕃策

#### (一) 授産ノ方法

農具給與 開墾費給与

種子家畜給与

手工教授ノ有無

#### (二) 辨髮奨勵法

#### (三) 頭人社長通事手當金給与額

#### (四) 蕃人子弟教育法

#### (五) 課税ノ有無若シ有ラハ其種類及額

清国政府ノ撫蕃策

一 授産ノ方法

光緒二年九月ヨリ同五年九月マテ新ニ開墾シタル田畝数左ノ如シ

一 巴朗衛ニ於ケル二十四名ノ開墾ニ係ル埔地園百六十七畝

一 牡丹灣ニ於ケル二十二名ノ開墾ニ係ル埔地園一百畝

一 八瑤灣ニ於ケル二十二名ノ開墾ニ係ル田一百三十二畝ノ内水田貳拾五畝六分

一 猪勝束ニ於ケル四十三名ノ開墾ニ係ル田二百十畝ノ内水田二十畝

以上四ヶ所ノ開墾ニ従事シタル人員合計百十九名ニシテ開墾シタル田園ハ六百〇九畝トシ其内既ニ水田トナセルモノ約四十五畝六分ナリ

開墾シタル人民ハ土民蕃人相雜墾セルヲ以テ蕃人ノ数幾人ナルヤ區別シ難シ

一 港仔庄ニ於ケル二十一名ノ開墾ニ係ル山林地百四十八畝五分

一 八瑤灣ニ於ケル三十名ノ開墾ニ係ル田百六十畝ノ内水田四十九畝六分

一 新化社麻弄望阿眉蕃ニ於ケル三十一名ノ開墾ニ係ル高仕佛蕃社ノ山下一帯樹林ノ地二百〇二畝

一 茶山ニ於ケル二名ノ開墾ニ係ル山埔地二十二畝(其後五六名ヲ增募シ茶樹数万本ヲ植ヘタリ)

以上四ヶ所合計八十四名ヲ以テ田園五百三十二畝ヲ開ケリ其内水田四十九畝六分アリ之ニ前ノ四ヶ所ヲ加ヘ總計二百〇三名ニシテ開墾セル田園千四百四十一畝五分ニシテ内水田約九十五畝二分アリ

農具給與

一 八瑤灣開墾者林國等ニ

鉄齒鋨十五挺

一 右同人等ニ

鉄割鋨八對一對十七斤

- 一同 鐵犁頭鐵犁壁四十一副
- 一 牡丹灣開墾者郭伴長等二 鐵齒鋤十挺
- 一同 鐵割鋤刀十三副
- 一同 鐵犁頭鐵犁壁廿六副
- 一 巴郎衛開墾者廖文彬等二 鐵齒鋤十本
- 一同 鐵割鋤刀十副
- 一同 鐵犁頭鐵犁壁廿六副
- 一 猪勝束港口ノ開墾者古阿昂等二 鐵鋤八張
- 一 同人等二 鐵割鋤刀四副
- 一同 鐵犁頭犁壁八副
- 一同 木切刀三十三本
- 一同 台灣刀十二本
- 一同 鋤 六本
- 一 八礮灣後ノ開墾者温金配等二 鐵齒鋤八張
- 一 右同人等二 鐵割鋤六副
- 一同 鐵犁頭犁壁十一幅
- 一同 鋤 三十本
- 一同 台灣刀二十五本
- 一同 木犁 二本



一新化社開墾者蕃人楊福等ニ給與シタル物左ノ如シ

一鉄齒鋏 九張

一鉄割鋏 九幅

一鉄犁頭犁壁 九幅

一鋤頭 十四張

一木切刀 廿六把(本)

一台灣刀 三十本

一鋤 十六本

一港仔社開墾者張連升等ニ給與シタル物左ノ如シ

一鉄齒鋏 四張

一鉄割鋏刀 四幅

一鉄犁頭犁壁 四幅

一木切刀 二本

一鋤 二本

一台灣刀 八本

一斧 二挺

一茶山開墾者陳資生等ニ給シタル物左ノ如シ

一鋤 五本

一鉄犁頭犁壁 一幅

一 鉄齒鉋

一 張

以上總計八ヶ所ニ給與シタル鉄齒鉋六十五張斧二本鉄割鉋五十四副犁頭犁壁百二十六副木切刀六十七本台灣刀八十一本鋤七十三挺トス

耕牛給與

一 八礪灣後開墾者温金配等ニ耕牛六頭

一 新化社開墾者蕃人楊福棉等ニ耕牛六頭

一 港仔庄開墾者張連升等ニ同四頭

一 茶山開墾者陳資生等ニ同一頭

以上四ヶ所ニ給與シタル耕牛計十七頭

(一頭ニ付實價八兩二錢八分合計金百六十九兩四錢)

清國撫墾章程ニ依レハ開墾者五名毎ニ牛一頭ヲ給シ一頭ニ付價凡十兩(十五兩左右也)

開墾費給與

一 開墾者ノ内百人長一人

每月銀八兩米三斗ヲ給ス

一同上十人長

每月銀三兩米三斗ヲ給ス

一 開墾者一人

每月銀二兩四錢米三斗ヲ給ス

一 開墾者ノ妻子一人ニ付大人ニハ毎月米三斗ヲ給シ小兒ニハ一斗五升ヲ給セリ

以上ハ台湾ニテ募集ニ應シ開墾セルモノ、給料ニシテ六月前前金ヲ以テ支給スルモノトス

一開墾者ノ内百人長一人

毎月銀九兩米三斗ヲ給ス

一同十人長一人

毎月銀三兩六錢米三斗ヲ給ス

一開墾者一人

毎月銀二兩四錢米三斗ヲ給ス

以上ハ支那ヨリ募集ニ應シ開墾ニ従事スル者ノ月給ニシテ一ケ年前々金ヲ以テ支給スルモノトス

台湾招墾章程内載スル所ニ依レハ台湾ニテ募集ニ應シタル者ハ開墾地ヘ到着シタルトキ六ヶ月分ノ銀米ヲ前給シ六ヶ月後ニ至リ田園開クルニ及ヒ漸次銀米ヲ減スルコト左ノ如シ

一 百人長 減セス

一 十人長 毎月銀一兩五錢米一斗五升ヲ給ス

一 開墾者 毎月銀一兩二錢米一斗五升ヲ給ス

一 同妻子 毎月米一斗五升

開墾一ケ年ノ後ニ至リテハ一切銀米ヲ給セス其開ク所ノ田園ハ三年成熟ノ後錢糧地租ヲ徴収シ其以前受領スル所ノ米借用ノ牛及農具等ハ三年後收穫ノ時ニ當テ官ニ返スカ又ハ返スコト能ハサルトキハ租金ノ外ニ官租トシテ徴収シ支那内地ヨリ募集ニ應シ渡台スル者ハ着台ノ日ヨリ起算シ前金ヲ以テ一ケ年分ノ銀米ヲ給與シ一年以後ニ至リ給与ノ額ヲ減スルコト左ノ如シ

一 百人長 減セス

一 十人長一人

毎月銀二両七錢米三斗ヲ給ス

一 開墾者一人

毎月銀一両五錢米三斗ヲ給ス

一 開墾者ノ妻子ニ給スル米ハ減スルコトナシ

開墾ニ着手シテヨリ一年半ノ後ニ至レハ以上ノ月給等一切給与セス其開キタル田園ハ總テ三年以後ニ於テ錢糧租金ヲ徴収ス其前ニ受取タル穀物其他借用セル耕牛農具種物等八十年ヲ以テ一期トナシ五年以後田園ニ於ケル作物等成熟セルトキハ毎年官租ヲ二期ニ納メ其間ニ完納ヲ了シ將來自己ノ所有ニ帰スルカ或ハ三年ノ後賦税スルノ時正税ノ外官租若干ヲ附加シ徴収スル等開墾委員地方ノ情況ニ依リ斟酌處理シタリ

各地開墾者ニ給与シタル金穀數

一 八碓灣牡丹灣巴朗衛猪勝東ノ四ヶ所ニ於ケル開墾者百十九人ニ向テ光緒三年十月七日ヨリ同四年九月六日迄

十一ヶ月間給与シタル銀四千九百八十三兩三錢

一同上光緒三年十月ヨリ同四年八月マテ開墾者連妻子ニ給与シタル十一ヶ月分食米八百〇四石七斗五升

一同上光緒四年十月一日ヨリ同十二月末日マテ三ヶ月分及開墾者連妻子ニ給与シタル百三十一名ノ食米百十六

石一斗ト共ニ合計米九百二十石〇八斗五升ヲ給ス

一 八碓後新化社港仔庄茶山ノ四ヶ所ニ於ケル開墾者八十四人分光緒三年十一月ヨリ同五年三月マテ妻子ヲ合セ

合計食米四百〇二名九斗五升ニシテ總合計千三百廿三石八斗ナリ

一同上光緒三年十月十六日ヨリ同五年三月末日迄四ヶ所ノ開墾者ニ給与シタル銀千四百七十七兩七錢二分

以上計八ヶ所ノ開墾者ニ給シタル六千四百六十一兩〇二分(内茶山ニ草屋三軒ヲ建テタル費用并ニ開墾シタル工費計銀五

十八兩一錢二分其他茶匠蘇大吉ヲ雇ヒタル二ヶ月ノ賃金十四兩七錢)

郭守備ノ給料護勇(兵士)清書(書記)ノ賃金等左ノ如シ

一總一官墾民委員守備郭占鰲へ毎月俸給三十兩ヲ給シ乃光緒三年十月一日ヨリ同四年八月末日マテ計十一ヶ月間ニ給シタル銀三百三十兩

一護勇六名一名毎二ヶ月給四兩二錢トシ十一ヶ月分計銀二百七十七兩二錢ヲ給ス

一清書一名月給六兩トシ十一ヶ月分計銀六十六兩ヲ給ス

以上給与銀合計六百七十三兩二錢トス

一牡丹灣各所ノ醫師廖庚六鐘德鳳張占先等ノ月給一人十兩トシ計銀二百二十兩ヲ給セリ

一牡丹灣ノ開墾者ニ給シタル草屋建築料銀六十八兩

一新化社蕃人潘阿要等三十名ニ向テ布ノ上衣股引一枚宛与ヘタル仕立賃共銀三十一兩五錢トシ又淺黄布六十疋

ヲ給ス價銀三十八兩七錢二分以上合計銀七十兩〇二錢二分トス

一牡丹灣巴朗衛八礮灣猪勝束ノ各地開墾者ノ内病死者十三名ニ向テ一名毎ニ埋葬費トシテ銀二兩〇四分ヲ給シ

合計二十六兩五錢二分トナル

一馬鞍山ノ開墾者郭讚等ニ向テ貸与ヘタル大沙灣地方開墾ノ資本銀四百兩保証人尤魁元ニシテ三年ノ後官ニ返スノ約定ナリ

一向林庄開墾者洪阿順ニ向テ貸与ヘタル後山欖仁灣地方ヲ開墾ノ資本銀六十八兩三年ノ後返済ノ約束ナリ

以上光緒四年貸与セリ

一八礮灣阿眉蕃都六等ノ旧園地ニ於ケル草屋ヲ修繕シテ開墾者居住ノ所トナシタル銀七兩

一土人賴烏番等ニ八礮灣内大石板ノ水道ヲ開キタル工銀二十七兩二錢ヲ給ス

又蕃人蘇益等ニ八礮灣後后所前ノ水道四十丈ヲ開キタル工銀十五兩ヲ給ス合計四十二兩二錢

一農具型頭犁壁鉄割鉞鉄齒鉞鋤頭柴刀鉄禾鎌鉄月綁木犁灣刀砍樹刀等ヲ買ヒタル銀及上下ノ船賃牛車賃等其他廣東香港ヨリ購入セル物品ヲ台南府ヘ運搬スル汽船賃安平陸揚稅関稅及同所ヨリ恒春マテノ運搬費等ノ失費計四百二十五兩〇九分四厘六毫二絲トス

一董成明ヨリ買ヒタル米三百二十石ノ價銀五百七十六兩六錢四分トス 米一石ノ價銀二兩六十五錢

一郭守備占鰲ニ支拂タル雜費光緒三年九月一日ヨリ同四年四月三日マテ計銀四百五十兩トス

一耕牛十七頭ヲ買ヒタル銀計百六十九兩四錢牛一頭ノ價八兩二錢八分トシ該牛ハ之ヲ新化社ノ楊福棉八礮灣後温金配港仔庄ノ張連升茶山ノ陳資生ニ給与シタリ

一新化社八礮灣後港仔庄茶山ノ四ヶ所開墾者ニ給与シタル穀種二十八石此價銀三十一兩九錢六分 一石ニ付價

一兩一錢四分トス

一廣東棉二百八十斤ノ價十四兩 一斤ニ付五分

又廣東省ヨリ香港ヲ經テ台湾ニ至ル運賃及光緒四年ヨリ恒春ニ運送シタル船賃苦力賃五兩三錢二分トシ合計銀十九兩三錢二分

一楓港庄ノ開墾者林廷儀等ノ開墾ニ係ル冷傘埔ノ牛畜農具犁鉞等ノ銀百三十六兩又外ニ林廷儀等ニ貸与ヘタル水道開拓費五十四兩合計百九十兩〇四錢

以上總合計銀九千八百九十八兩九錢七分四厘六毛二絲

一光緒三年十一月廣東潮州府仙頭ヨリ募集セル開墾者三百三十名小兒二名醫師二名大工二名百人長五名渡台シタルヲ以テ楓港荊桐脚等ノ地ヘ派遣シテ開墾ニ從事セシメタルニ同四年四月氣候不慣ノ為病死セルモアリ逃亡セルモアリ現員二百四十名トナレリ

又楓港莉桐脚ニ於テ土民五十一名生蕃人十名ヲ募集シ共ニ田園二百三十五畝余ヲ開キタリ  
招撫章程ノ定ムル所ニ據レハ左ノ如シ

百長一人 月給銀九兩米三斗

百長ハ開墾者ノ取締ヲ司ルモノニシテ六十名ヨリ百名マテノモノニハ月給九兩トシ又四十名ヨリ五十餘  
名マテノモノニハ月給八兩又タ二十名ヨリ三十名マテノモノニハ月給六兩又二十名未滿ノ者ハ月給四兩  
八錢ニシテ内百人長劉應標等三名ニハ一名毎二月給銀八兩五錢五分トシ同王金等二名ニハ一名毎二月給  
五兩七錢六分トス

十人長八十名ノ開墾者ヲ一官束シ一名毎二月給銀三兩六錢米三斗ニシテ開墾者ハ一名毎二月給二兩四錢  
米三斗ナレトモ當時十人長ニ給与セル月給ハ三兩四錢二分開墾者ニハ月給二兩二錢八分トス其殘ノ金額  
ハ招撫局長其他係員カ囊中ヲ肥スノ料トナセリ豈歎スヘキノ至ナラスヤ

一仙頭ヨリ募集ニ應シ來恒セル開墾者三百三十四名ニハ一人毎二銀二兩宛前金貸与ヘ家族ノ意ヲ安ンセシメ該  
金ハ開墾地ニ至リ月給ヲ受取時返納スルノ定ナリキ

光緒四年六月ニ至リ楓港莉桐脚ノ開墾者黃勝吉等三十三名ハ台澎兵備道台衛門ニ出頭シ告訴シタル處審問申  
立ノ次第左ノ如シ

廣東大埔縣人

黃勝吉

三十歲

光緒十三年十一月十五日張尋源ナル者アリ百長張春義劉應標ヲシテ潮州仙頭地方ノ小民ヲ招キ云ヘラク後山  
ニ赴キ田園開墾ニ從事スルナリト小民ハ之ヲ承諾シ汽船ニ搭シ三年十一月廿六日ニ旂後ニ着廿八日莉桐脚ニ

着ス其十長ハ毎月銀三兩六錢米三斗ヲ受取り小民ノ開墾者ハ毎月銀二兩四錢米三斗ヲ受取居リ小民等ノ開墾ニ係ル田園約百餘甲アリ甘藷ヲ栽培セルモ旱魃ノ為成熟セサルノミナラス從來支給ヲ受ケシ金穀モ三月末日ヲ以テ打止メラレ四月以後今日ニ至ルマテ聊カモ受領セサルニヨリ自己ノ衣服ヲ質入シ又ハ賣拂ヒ尽シ張尋源ノ消息モ不明ニシテ十長ハ早ク逃走シ小民等饑餓堪ヘ難キヲ以テ本月十四日莉桐脚ヲ発シ又仙頭ヨリ出発セルモノ百餘人ノ多キニ及尚陸續逃走ヲ企望セリ今尚莉桐脚二十餘名ノ婦郷セントスル者アルモ病等ニ罹リ困難ニ迫リ居レリ是ニ於テカ小民等強壯ナル者三十三名ハ八日郡ニ到リ道古衙門ニ赴キ救助ヲ願ヒタル申立ハ前陳ノ如シ

其時台澎兵備道夏批准セラレ楓港莉桐脚両地ノ開墾者ハ病者多キヲ以テ留メ置クモ無益ノ事ナレハ四月五日ノ食料ヲ補給シ更ニ六月分ノ給料ヲ与ヘ原籍ヘ帰ルノ旅費ニ充テ其遺シタル田園ハ之ヲ本島ノ開墾者及蕃人等ニ与ヘ陸續開墾ヲ怠ラサラシメ若該蕃人等ニシテ農具牛畜ヲ購入スルノ資力ナキ者ハ官ヨリ適宜開墾費又ハ資本ヲ貸与ヘ返済期限ヲ定メ其婦郷スル三十三名ニハ特別ノ恩典ヲ以テ六月二十日ヨリ同廿一日マテ一名毎ニ米一升ヲ給シ又一人毎ニ旅費トシテ三百文ヲ給與ス米一斗ハ價三十錢トス

以上合計裁汰遣撤シ楓港莉桐脚両地ノ開墾者百九十餘名ニ向テ一人毎ニ四五兩月分金穀ヲ補給シ又六ヶ月分ノ金穀ヲ給シ旅費トナサシメ又更ニ賞金一円宛ヲ与ヘ雇船航海ノ賃金五百六十六兩ハ官給シ各開墾者ニ於テ前借ノ金二円ハ返納ニ及ハサルコト、ナシ光緒四年八月十三十五日ノ両日東港ヨリ商船ニ搭シ仙頭ニ帰り各其業ニ安シタリ

當時莉桐脚ノ開墾者陳文進孫姑柳袁有昌李添財李文李九等六人ハ土民蕃人計二十餘人ヲ募リ又楓港開墾者張文喜等六人ハ開墾者十餘人ヲ招キ両地ノ耕作ニ従事シタリ而シテ陳文進等六名ハ各官廳ニ請求シ金壹百円ヲ借り田園水道ヲ開クノ費用ニ供セリ合計借銀六百円トシ三年限返済スルコト、シ其以前ノ農具軍器銃彈等ハ



總テ新開墾者六名之ヲ受領シ各開墾者ニ分配シタリ鎗砲ヲ借用セルハ生蕃ノ危害ヲ防禦スルト旅行用ニ供ス  
ルトニアリ無事ノ日ニ至リ返納スルモノトス

一 楓港開墾者張文喜等六名ハ貸与シタル農具軍械鎗銃等左ノ如シ

一 銃 三挺 計十八挺

一 鋤 二本 計十二把

一 鎌 十一本 計六十六本

一 鋤頭 十三本 計七十八本

一 木耙 二本 計十二本

一 鉄鉋 一本 計六本

一 破損水車 一台 計六台

一 六人ニ貸与ヘタル抬炮 二十本

一 同 銃 十五挺

一 莉桐脚開墾主陳文進等六人ニ給與シタル各農具軍器鎗銃左ノ如シ

一 一名毎ニ銃三桿(挺) 計十八挺

一 同 鎌七本 計四十二本

一 同 木耙一本 計六本

一 六名ニ鉄鉋三台ヲ貸与ヘタリ

種子家畜ノ給與

一 開墾者一名毎ニ種子料トシテ銀七錢二分ヲ給与セリ(播種ノ穀數三四斗或ハ五六升アリ一定セス)

一 開墾者十名毎ニ牛二頭ヲ給与ス(二頭ノ價十兩)

一 光緒三年十月ヨリ茶山ノ陳資生等ニ穀種九石ヲ給與ス一石ノ價銀一兩三錢六分トス又外ニ種子料二兩三錢六分ヲ給ス

一 新化社楊福棉等ニ穀種九石ヲ給與ス一石ノ價一兩〇二分トシ合計銀九兩一錢八分トナリ開墾者三十一名分ナリ

一 八礮灣後ノ温金配等三十一名ニ穀種九石ヲ給與ス一名毎ニ價一兩〇二分合計銀九兩一錢八分

一 港仔庄張連升等二十二名ヘ穀種九石ヲ給與ス一石ノ價一兩〇二分合計銀九兩一錢八分

一 右同人等ヘ穀種九石ヲ給與ス一石ノ價一兩三錢六分合計銀十二兩二錢四分

一 守備郭占鰲ニ穀種代五十兩ヲ給與シ巴朗衛牡丹灣八礮灣猪勝東ノ開墾者百十九人ニ播種セシム

一 楊福棉張連升温金配陳資生等四ヶ所ノ開墾者ニ牛十七頭ヲ給ス

#### 手工教授ノ有無

一 生蕃人ハ性頑愚ニシテ酒ヲ飲ミ人ヲ殺スコトヲ是業トシ手工ヲ教授スルコト能ハス且兇惡ノ性ニシテ反復常ナキヲ以テ師ノ教ニ従ハサルナリ

#### 辨髮奨励法

一 光緒元年清國政府初メテ招撫局ヲ設クルノ際上下三十六蕃社ヲ招キ該蕃人等一同縣城局署ノ内ニ招集シ官ヨリ酒肉飯菜ヲ以テ之ヲ饗シ銀錢布疋ノ諸品ヲ与ヘ彼等ニ勸誘スルニ剃頭辨髮ヲ以テシタリ爾後日ヲ経ル久キニ及フモ高山ノ生蕃ハ依然留髮シテ剃頭辨髮ヲ履行セス

然ルニ平地ノ生蕃ハ化シテ熟蕃トナリ人衣ヲ着シ人食ヲ食シ剃頭辨髮ヲナシ人性ヲ有スルニ至レリ  
毎度蕃人ニ給與シタル食費衣布雜品代合計百餘兩内外ナリシ

頭人社長通事二金員給與額

上蕃内文社大股頭人野崖へ	月手當金	十二円
同二股頭人巴嘲々へ	同	六円
同外文社大股頭人新碓へ	同	十二円
同同二股頭人取類へ	同	六円
同華芒社大股頭人請吻へ	同	六円
同割肉社大股頭人正吻へ	同	六円
同十八社總頭人加也米定へ	同	十二円
同中心崙社長	朱龜鰻へ	五円
竹坑社長	秦文貴へ	四円
阿也美薛社長	尤乳里へ	二円
荅加蒙社長	許惹任へ	二円
小籠肴社長	何慶吻へ	四円
草山社長	呂業廣	四円
馬乳肴社長	施慶勿	三円
外麻離巴社長	張吧麟	五円
中 同	孔龜呖	四円
内 同	曹諸葛	四円
内文社長	嚴野崖	五円

八礮社長	萬里得社長	阿眉大社長	四林格 <small>正副</small> 社長	射麻里 <small>正副</small> 社長	龍鑾社長	龜仔角社長	下蕃大板埕社長	外 同	內加芝來 <small>正副</small> 社長	外 同	內獅頭社長	根也燃社長	方武蠻社長	阿乳芒社長	霧里乙社長	大柑仔密社長	外 同	中 同
朗吧林	彭阿苟	范阿流	奚 <small>吧隆家別</small>	葛 <small>亦色射麥</small>	潘龜吹	蘇加魯	雲馬宗	水 <small>諸葛堯仔</small>	柏 <small>春祿勞人</small>	喻也惹	雛少羅	謝乳俐	戚芋葛	姜于吹	陶龜令	魏扒者	金新燒	華主類
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五 円	五 円	四 円	三五 円	三五 円	四 円	五 円	三 円	二三 円	二 三 円	三 円	四 円	五 円	四 円	二 円	三 円	二 円	五 円	二 円

八姑角社長	魯必來	同	四	四
射不力 <small>正</small> 社長	寶 <small>加令</small> 姑 <small>仁</small> <small>勿</small>	同	三五	四
家新路社長	章武朗	同	五	五
牡丹大社長	章加遮	同	五	五
同中社長	昌吧零	同	二	二
同礼大社長	馬春祿	同	五	五
加芝來社長	苗吧也	同	五	五
竹社長	鳳阿軟	同	二	二
扶仔社長	花無也	同	三	三
蚊蟀嶺社長	方長壽	同	五	五
猫仔社長	張潘旺	同	五	五
高仕佛社長	兪巴力	同	五	五
豬勝束社長	任文杰	同	五	五
下蕃豬勝束社大股頭人潘朱雷		每季三個月七十二元		
射麻里社二股頭人冷阿冷		七十二元		
猫仔社三股頭人潘獅		十四元		
龍蠻社四股頭人潘姑柳		十四元		

生蕃ニハ姓氏ナシ威豊年間潘布政使アリ全島各社ノ生蕃撫育ヲナシ潘ナル姓ヲ蕃人ニ賜ヒ番ノ字ニ水辺ヲ加ヘ同姓トナシ永ク相親愛シ記念トシタリシカ光緒元年以後縣官ニ於テ蕃人ヲ撫育スルニ各姓ヲ賜ヒ永ク子孫ニ傳ヘタリ是ヲ以テ姓アルニ至レリ併シ蕃人ハ性愚頑蠢惡ナルヲ以テ後來己ノ姓氏ヲ官ヨリ賜給セラレタルコトヲ忘レタリ

上蕃社通事ノ月手当金ハ鳳山縣枋寮分司衙門ヨリ支給セラレタルヲ以テ恒春縣官ハ承知セス故ニ旧案ノ調査スヘキモノナシ

下蕃社通事ニ給与シタル月手当金左ニ

内山及龍蛭各社ヲ管理スル通事	賴春金ヘ	月手当金	六円
龜仔角各社ヲ管理スル通事	邱眉九ヘ	同	六円
八礮灣各社ヲ管理スル通事	張孳生ヘ	同	六円
牡丹各社ヲ管理スル通事	鄧天保	同	六円
阿眉蕃各社ヲ管理スル通事	張毛七	同	六円
外山龍蛭各社ヲ管理スル通事	陳阿三	同	六円
猪勝束各社ヲ管理スル通事	張廷勳	同	六円
八礮牡丹各社ヲ管理スル通事	林阿九	同	六円
万里得各阿眉蕃ヲ管理スル通事	楊友旺	同	六円
内外山猫仔各社ヲ管理スル通事	張天財	同	六円
射不力各社ヲ管理スル通事	林枝口	同	六円

蕃人ノ子弟教育法

光緒一二年間恒春ニ義学校ヲ設クルコト十六所ニシテ同校教師ニハ一人毎二月給五円米三斗此金六十九錢三厘  
 (二年ニ付十三錢二厘) 屋賃八十錢炊事人一人月給三円ヲ給與シタリ合計銀九円四十九錢三厘トス

土民生徒ニハ一人毎二月米三斗ヲ給セリ(次ノ年ハ給セス)

蕃人生徒ニハ一人ニ付毎月米三斗ト外ニ小使トシテ銅錢五百文ヲ給シタリ

毎校ニ於ケル土民生徒八十名以上二十名以下ニシテ一樣ナラス又蕃人生徒モ六七人ヨリ十名内外ニシテ一定セス

恒春城内	二校
車城街	二校
新街	一校
楓港庄	一校
保力庄	一校
統埔庄	一校
射麻裡庄	一校
蚊蟀庄	一校
大樹房庄	一校
田中央庄	一校
糠榔林庄	一校
向林庄	一校
吧姑角庄	一校

以上合計十六校トス

課税ノ有無若シ有ラハ其種類及額

高山ノ生蕃ハ性殺戮ヲ好ミ清国政府ニ於テ其危害ノ心ヲ抑制セント欲シ種々撫育ニ盡シ其要シタル費用モ数万金ニ及ヒ生蕃ニ賄賂ヲナセリ(二十餘年蕃人ニ給シタル手当金其他ハ賄賂ト同様ナリ)然ルニ彼尚且殺人ヲ止メス何ソ課税ヲ收ムルノ理アランヤ若月給等支拂ニ遅延スルトキハ各社長頭人等部下ノ蕃丁ヲ使嚇シテ殺人ノ事ニ從ハシム清国官吏之ヲ聞キ速ニ支拂ヲ了シ以テ災禍ヲ免ル、コトニ勉メタリキ故ニ曾テ賦課等ハ為サ、リシナリ其平地ニ住メル蕃民乃射麻里蚊蟀港口巴龜角阿眉蕃等ノ各社ハ已ニ帰化シ田園ヲ耕作スル土民ト異ナラサルヲ以テ光緒十四五年ヨリ以後ハ平地ノ田園ヲ耕作スルモノハ土民ト同シク錢糧租金ヲ徵收セリ

光緒十八年下蕃社叛乱ノ情況 汪金明述

清國光緒十六年三月牡丹社蕃人加也肉等十数名車城庄田中央庄等附近ニ於テ王寓三人ヲ伏殺セシヲ以テ該庄民等仇ヲ狹ミ同年九月加也肉ノ兄弟三人田中央庄ノ田頭地方ニ來ルヲ認メ兩庄民衆ヲ率ヒテ該蕃人ヲ殺害シ其死屍ヲ燒燬セリ然ルニ牡丹社蕃人之ヲ聞キ大ニ憤恨ヲ極メ加也肉亦最恨ヲ懷キ牡丹社高仕佛社加芝來社其他下生蕃各社ニ謀合シ約五百人ヲ率ヒ車城田中央兩庄ヲ圍メリ兩庄民亦衆ヲ率ヒテ之ヲ禦キ而シテ民蕃ノ鬪争數日ニ連リ相持シテ未タ勝敗ヲ見ス於是清國恒春縣官呂兆潢恒春營遊擊證炳南車城汎把總管帶乎軍溢勇營管哨官等相會シ兵勇ヲ帶シ解和鎮壓民蕃ノ鬪争ヲ准サス然レトモ蕃性兇惡ニシテ反テ兵勇ヲ殺シ叛乱ス縣官呂兆潢官證炳南之ヲ制服スル能ハス蕃衆大ニ猖獗ヲ逞フス因是縣官臺灣巡撫部院劉銘傳ニ討伐ノ止ムヘカラサルヲ稟請セリ各上官議シテ臺灣總鎮萬國本ヲ派スルニ決シ十二月中旬萬國本ハ各營兵約一千餘人ト大砲數門火藥數百枚ト



ヲ統領シテ汽船ニ乘坐シ來恒シ車城及後灣ヨリ上陸シ入テ四重溪、内山、双溪口、牡丹山下等ノ処ニ兵勇ヲ配置シ蕃社ヲ攻打セント聲言シ兵ヲ按シテ動かス反テ蕃衆兵勇ヲ伏殺スルコト毎日甚多シ又蛮烟瘴霧ノ毒ヲ感受シ或ハ水土ニ服セス病死スル兵勇甚少ナカラス萬國本ハ此景況ヲ見テ無智ノ蕃族ニ誅伐ヲ加フルニ忍ヒス宜シク体卹セントテ乃通事ヲ派シテ蕃社ニ入り頭人社長及加也肉等ヲ招キ車城田中央両庄總理耆老等ト同ク宮内ニ會シ和議約ヲ定メ各人ヲ殺害セシモノハ賠償トシテ一命金六十円乃至八十円ヲ出サシムルコトニ決シ又再度永遠相鬪争セサルノ約字ヲ立テ約好セリ萬國本ハ翌年正月師ヲ班シテ臺南府城ニ凱旋セリ然ルニ牡丹社ノ蕃人心尚慮ス復叛テ兵勇商民等ヲ伏殺ス於是縣官再臺灣巡撫ニ稟申シテ派兵ヲ請ヘリ巡撫重テ臺灣總鎮萬國本ニ各營兵勇一千餘人ト大砲火礮等ヲ授ケ派遣セリ萬國本ハ復四重溪双溪口牡丹山下等各處ニ兵勇ヲ配置シ初ノ如ク蕃社ヲ討伐セシコトヲ聲言セリ適々風雨連綿タルニ値ヒ山路崎嶇以テ兵ヲ行ク難ク争鬪甚不便ナリ是ヲ以テ萬國本又通事ヲ派シ頭人各社長ヲ呼ヒ車城田中央両庄民ト齊シク露營ノ中ニ會セシメ定約スルコト初ノ如ク嚴ニ相互ノ鬪争ヲ戒メ而シテ萬國本ハ臺南府城ニ凱旋セリ然ルニ蕃人ハ口ニ定約ヲ應諾スト雖所謂陽ニ奉シ陰ニ違フモノニシテ以後常ニ草木ノ間ニ伏シ行旅ノ人ヲ殺害スルコト屢ナリ然レトモ縣官其罪ヲ問ハス文武官亦知ラスト假作シ慮シク春秋ヲ度リ生民ノ命ヲ惜マス枉ケテ君禄ヲ食メリ

### 光緒十八年上生蕃叛乱討伐ノ情況

光緒十八年六月射不力社蕃人楓港庄民ヲ殺害セシニヨリ楓港庄民仇ヲ狹ミ該蕃人ヲ殺害セシ為蕃衆大ニ怒リ上蕃社蕃人約一千人出來リテ楓港庄ヲ攻打ス楓港庄民亦衆ヲ率ヒテ之ヲ禦キ數日ニシテ蕃人ノ為四人ノ死傷ヲ出セリ因之庄民乃チ恒春ニ到リ縣官衙門ニ救ヲ求ム縣官高晋翰ハ恒春營遊擊兼屯軍溢勇官官張世香ト會同シ兵勇數百人ヲ領シテ楓港庄ニ到リ解和ヲ試ミシモ蕃衆叛乱シテ兵勇ヲ殺害セリ高晋翰ハ不幸ニシテ病ヲ發シ衙門ニ

回り遂ニ死セリ張世香ハ生ヲ貪リ死ヲ怕レ蕃族ヲ制スル能ハス兵勇亦常ニ蕃人ニ殺害セラレ始ト手ヲ束ヌルニ至レリ於是又臺灣巡撫部院ニ稟申シテ派兵ヲ請ヘリ臺灣總鎮萬國本復千餘ノ兵勇ヲ帶シ來リテ楓港ニ駐札シ兵ヲ進メテ内山四株板榔等ノ地方ニ配置シ又射布力社前ノ各大山ノ上ニ分遣シテ露宮ヲ張り而シテ先ツ通事ヲ派シテ蕃人ヲ降ラシメントセシモ彼等肯テ服セス於是乃兵ヲ進メテ草埔チヂヂ後、巴士墨両蕃社ヲ攻打シ大ニ之ヲ破リ蕃人数名ヲ斬殺シ而シテ其屋舎ヲ燒燬シ又山上ノ芋園豆圃ヲ堀毀スルモノ甚多シ又楓港庄民六十餘人ヲ募リ義勇トナシ以テ嚮導ニ充テ尚進テ蕃族ヲ勦殺ス之ニ至リ蕃衆頗罪ヲ悔ユルノ情アリ萬國本ハ更ニ楓港汎官汪斌ニ兵勇及庄民若干ヲ授ケ潛ニ蕃巢ニ入り社長冷阿冷チレアチンヲ捕縛シテ軍門ニ連レ來リ正法ニ從ヒ首ヲ斬リ梟示ス時恰モ八月秋霖ノ際颶風大雨甚シク兵勇露宮ノ苦之レヨリ甚キハナシ又兵勇ニシテ溪水冲流ノ為漂没セシモノ数名アリ蛮烟瘴霧ノ為病死スル兵勇亦甚タ多ニ至ル臺灣巡撫部院陳文緯ヲ恒春知縣ニ任ス陳文緯着任ノ後乃楓灣ニ赴キ萬國本ト相議シ通事ヲ派シ頭人各社長等ヲ呼ヒ楓港庄民ト相會シ和約ヲ定メ書券ヲ写シ永遠再鬪殺セサルコトヲ誓ヘリ萬國本ハ乃師ヲ帥イテ臺南府城ニ凱旋ス以後蕃衆行旅ヲ伏殺スルアルモ縣官敢テ其罪ヲ問フコトナク唯通事ヲ派シテ頭人社長等ヲ呼ヒ中和ノ説ニ從ヒ則賠金トシテ一命六十円乃至八十円百円ヲ償ハシメテ事ヲ了スルノミ以上兩役金明軍中ニアリテ總司軍政ノ幕僚トシテ軍機ニ參セリ今諮問ニ対シ前情ヲ筆述シテ呈上ス